

Digi田甲子園の受賞団体の取組について



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

令和5年8月3日

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

- 全国津々浦々でデジタル田園都市国家構想を力強く進め、国民的な機運を醸成する観点から、デジタル技術の活用により、地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取組を表彰する「Digi田甲子園」を開催。
- 夏は地方公共団体、冬は民間企業・団体の取組を募集。国民参加のインターネット投票と審査員による審査を経て、内閣総理大臣賞（優勝）ほか受賞団体を表彰。

夏のDigi田甲子園

- 地方公共団体を対象に募集し、各都道府県にて「地区予選」を開催。都道府県代表159件に対し、国民によるインターネット投票を実施。
投票総数：24,216票

【優勝（内閣総理大臣賞）】



《実装部門：①指定都市・中核市・施行時特例市》

『北九州市DX推進プラットフォーム創設、北九州市ロボット・DX推進センター開所等による市内中小企業のDX支援の加速化』
福岡県北九州市



《実装部門：②市（①を除く）》

『飛島スマートアイランドプロジェクト』
山形県酒田市



《実装部門：③町・村》

『観光・関係人口増加のための孺恋スマートシティ』
群馬県孺恋村



《④アイデア部門》

『めぶくEYE：視覚障がい者歩行サポートシステム』
群馬県前橋市

4部門の受賞事例のほか、インターネット投票対象の159の取組の紹介動画を掲載



冬のDigi田甲子園

- 企業・団体等民間分野を対象に募集し、172件の応募の中から選定した46件に対し、国民によるインターネット投票を実施。
投票総数：40,623票

【優勝（内閣総理大臣賞）】

『デジタル（テレマティクス）技術を活用した新たな交通安全対策』

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

デジタル（テレマティクス）技術を活用した
新たな交通安全対策



【準優勝】

『北信濃での観光型MaaSによる利便性向上と広域周遊の促進』

東日本旅客鉄道株式会社



インターネット投票対象の46の取組の紹介動画を掲載



Digi田甲子園受賞後の状況（夏のDigi田甲子園【優勝】）

	受賞者	受賞以降の動き
実装部門 指定都市 【優勝】	「北九州市DX推進プラットフォーム創設等」 福岡県北九州市 (分野：中小企業)	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進プラットフォーム：238社 → 408社 (R5/3末) ・専門家による無料伴走支援相談受付：136件 → 238件 (同) ・専門家派遣受付：375回 → 744回 (同) ・中小企業経営層向けDX人材育成スクール： 3年間で56社・63名受講 → 新たに14社・24名受講 (同) ・DXを推進する市内企業に対する補助事業： 実施開始から2年間で73社を採択 → 受賞後81社を採択 (同)
実装部門 市 【優勝】	「飛島スマートアイランドプロジェクト」 山形県酒田市 (分野：物流)	<ul style="list-style-type: none"> ・うみねこちゃんの登録者数：60名 → 75名 ・配送経路等を効率化し、配送時間の短縮を図って人件費や輸送費コストを削減し、営業黒字を実現 ・ガイドツアーや海水浴用品等の予約機能、ドローンでの水中・空撮撮影サービスを追加 ・ドローン船の無人航行の実証実験を実施。今後、改良・実装に向けて研究を重ね、海洋資源モニタリングや密漁監視への活用を展望
実装部門 町村 【優勝】	「観光・関係人口増加のための孺恋スマートシティ」 群馬県孺恋村 (分野：観光)	<ul style="list-style-type: none"> ・GW期間中の村内観光客数：27,500人 (R2) → 55,000人 (R3) ※インターネット予約の合算 ・令和5年3月、スマホアプリ「つまポケ」を機能強化し、行政サービス、施設、イベント予約をオンライン化 (6月末現在DL数1,365) ・県主催のセミナー等で事例紹介を実施。県内市町村からの問合せがあり、県外からは視察予定あり
アイデア部門 【優勝】	「めぶくEYE：視覚障がい者歩行サポートシステム」 群馬県前橋市 (分野：誰一人)	<ul style="list-style-type: none"> ・実装に向けて、デジ田交付金（デジタル実装タイプTYPE3）を活用し「めぶくEYEアプリ」開発を開始。令和6年2月に「めぶくEYEアプリ」をリリース予定 ・令和5年3月28日に、G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合「海外メディア向けプレスツアー」に参加

Digi田甲子園受賞後の状況（夏のDigi田甲子園【準優勝】）

	受賞者	受賞以降の動き
実装部門 指定都市 【準優勝】	「マイナンバーカードを活用したタクシーによる高齢者等の移動支援」 群馬県前橋市 （分野：交通）	<ul style="list-style-type: none"> ・マイタク登録者数：31,089人（R4/3末）、実利用者数：11,378人 ・令和4年からマイナンバーカードに一本化（紙利用券を廃止した結果、事務負担が大幅に軽減） ・外出機会の増加：H29：82.2%→R2：83.9%→R4:84.1% ・自治体からの視察受入件数約30件（R4/9～） ・TV、新聞からの取材あり
実装部門 市 【準優勝】	「電子地域通貨「さるぼぼコイン」を活用した、行政サービスの向上及び地元企業の支援」 岐阜県飛騨市 （分野：中小企業）	<ul style="list-style-type: none"> ・加盟店数：364店（R4/4末）→ 390店（R5/6末） ・受賞後に実施したキャンペーン 計2回 参加店舗207店 決済件数 7,562件、決済額12,222千円 ・受賞後、自治体等から視察を15件受入（今後の予定含む） ・今後、「ふるさと納税への導入」、「ねんりんピックなどのイベントにおける活用」を検討
実装部門 町村 【準優勝】	「電子母子手帳アプリとオンライン医療相談の連携活用による子育て世代への支援」 宮城県丸森町 （分野：医療子育て）	<ul style="list-style-type: none"> ・母子手帳アプリ：76人 → 117人（R5/7） ・オンライン医療相談登録者：47人 → 97人（同） ・令和5年度からオンライン医療相談に「日中助産師相談」機能を追加 ※LINEを使って予約なしで助産師と直接相談できるもの
アイデア部門 【準優勝】	「DXによる魚価向上・漁業の担い手確保を通じた地域活性化」 千葉県いすみ市 （分野：農林水産）	<ul style="list-style-type: none"> ・デジ田交付金や県補助金を活用しながら、魚の鮮度管理状況を可視化し、ブランド向上と販路開拓等を図る取組を実装。今後、「漁船の中での水揚げ量や魚種等のデータ化」、「海水氷を使用した鮮度保持」等の試みも実施予定 ・大手IT企業主催のカンファレンスにおいて、最優秀賞を受賞

Digi田甲子園受賞後の状況（冬のDigi田甲子園〔優勝・準優勝・ベスト4〕）

	受賞者	受賞以降の動き
優勝	<p>「デジタル（テレマティクス）技術を活用した新たな交通安全対策」 あいおいニッセイ同和損害保険 （分野：交通）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーの運転データの収集、活用を通じて車速の変化を可視化 ・これを踏まえ、速度制限エリアを適切な箇所を設置し、交通事故の未然防止に繋げる ・都道府県警と連携した交通安全イベントを49件開催（今後の予定を含む） ・大手新聞社や雑誌での記事掲載 ・多数の地方公共団体から問合せがあり、導入に向けた意見交換を実施中
準優勝	<p>「北信濃での観光型MaaSによる利便性向上と広域周遊の促進」 東日本旅客鉄道 （分野：観光）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参画自治体：8自治体 ・電子チケットの種類： 交通・観光電子チケット：42種類 → 44種類 エキトマチチケット加盟店：142店舗 → 177店舗 ・期間限定実施から通年実施に拡充（R5～）。7自治体と協定を締結し、連携してサービスを展開中
ベスト4	<p>「福祉介護・共同送迎サービス ゴイッショ」 ダイハツ工業 （分野：医療・介護）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体として、送迎車両台数を20%削減 ・送迎にかかる総労働時間を9%削減（1施設あたり16.3時間/月） ・▲14%の車両維持コスト削減効果 ・2市において実証実験を予定のほか、複数の自治体で導入に向けた調査・検討が進展 ・累計300以上の自治体・地域団体がオンライン説明会に参加
ベスト4	<p>「学びのプラットフォーム「リアテンドット」で実現する教育DX」 大日本印刷 （分野：教育・子育て）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採点業務時間の削減 導入後、A高校 49%削減 B高校 57%削減 ・受賞を受け、Web媒体にニュースとして掲載 ・展示会で受賞実績を展示。50超の自治体が興味を示し、導入を検討中

Digi田甲子園受賞後の状況（冬のDigi田甲子園【ベスト8】）

	受賞者	受賞以降の動き
ベスト8	<p>「産学官民連携による観光DX～高山市におけるデータの地産地消～」 名古屋大学 安田・遠藤・浦田研究室 (分野：観光)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山散策Webマップ：利用者数3,202人 → 1.4万人 アクセス数6,929回 → 2.7万回 ・データ分析により飲食店の営業時間を改善した結果、売上が平均7%(最大27%) 増加 ・AIカメラで取得できるデータ（グループ属性、笑顔度等）の追加検証を実施
ベスト8	<p>「北海道炎症性腸疾患患者医療均一化を目指した遠隔医療体制の確立」 札幌医科大学消化器内科学講座 (分野：医療・介護)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道内で連携した診療体制の構築：3機関 → 新たに1機関が追加 ・炎症性腸疾患（IBD）患者を延べ36回診察（診療開始後9か月間） ・令和5年4月から「消化器先端内視鏡学講座」を開講。IBD以外の消化器疾患の内視鏡による遠隔連携診療体制を構築
ベスト8	<p>「北海道の酪農牧場でDX実証、全国の酪農生産者へDXを推進」 ファームノート (分野：農林水産)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・酪農DX牧場において、 <ul style="list-style-type: none"> ・日乳量が国内平均比約1.3倍の生産性向上 ・分娩間隔1年以下の牛が45%から82%に上昇し、生産効率が向上 ・導入数は順調に増加し、現在、全国の約1,900件の牧場がスマホでの牧場業務管理（Farmnote Cloud）を利用 ・本年4月、スマート農業を推進する長崎県が、若手畜産農家等に同社製品を導入し、県内の酪農畜産のDXを推進
ベスト8	<p>「母子健康手帳アプリのデジタル予診票を活用した小児予防接種DX」 母子モ (分野：教育・子育て)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小児予防接種サービスを導入した自治体数：7（R5/2） → 17（R5/7） ・導入医療機関でのデジタル予診票利用率：60%（R5/2） → 80%（R5/6） ・市原市内の予防接種のデジタル化率：40% ・本取組に係る事業が16団体でデジ田交付金（デジタル実装タイプTYPE1）の採択 ・本取組後の問い合わせ・視察数：15自治体 ・複数のメディアで本取組を取り上げ

各種メディアにおけるDigi田甲子園受賞事例の発信

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた機運醸成を図るため、「ミライの歩き方」などのTVやラジオといった政府広報提供番組や、各種メディア・イベント等において、甲子園受賞事例を発信。また、全国紙・地方紙の新聞やテレビの報道、業界誌等でも、記事化・ニュース化。

▲政府広報提供番組「ミライの歩き方」におけるデジタル田園都市国家構想の発信（令和4年10月、5年3月、4月放送）



©テレビ東京



©テレビ東京

▲月刊事業構想(令和5年5月号)



デジタル田園都市国家構想特集ページ

▲NHK松山放送局「ひめDON!」(令和5年4月)



「夏のDigi田甲子園：アイデア部門」に応募の愛媛県伊方町の取組を紹介

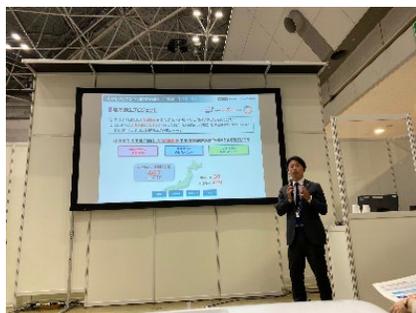


- G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合（令和5年4月）
G7 広島サミット（令和5年5月）における展示



デジタル庁等と連携し、G7 群馬高崎デジタル・技術大臣会合（デジタル技術展）、G7 広島サミット（国際メディアセンター）において、デジタル田園都市国家構想の概要とともに、各受賞団体作成の紹介動画を通じて取組事例を国内外に発信。

- 日本経営協会「自治体総合フェア」での事例発表
（令和5年5月：東京ビッグサイト）



デジタル田園都市国家構想をテーマとしたセミナーにおいて、優勝団体である群馬県前橋市、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が登壇。ブース定員を増員した120名の来場者（自治体、企業等）に対し、デジタルを活用した課題解決の具体的な実装事例を発信。

- The Consumer Goods Forum (CGF)「The Global Summit 2023」でのパネルディスカッション（令和5年6月：国立京都国際会館）



世界中の消費財の小売・メーカーが加盟する国際団体の年次総会で、デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、受賞団体である札幌医科大学・名古屋大学、同会議の正能委員によるパネルディスカッションを実施。産学官連携で社会課題を成長のエンジンとする具体的な取組を国内外に発信。

- 本年10月に開催予定の「CEATEC 2023」において
デジタル田園都市国家構想の特設パビリオンを開設予定
（令和5年10月17～20日：幕張メッセ（予定））

※写真は、昨年度のCEATEC展示会場風景とデジタル田園都市国家構想セッションの様様



デジタルイノベーションの総合展示会「CEATEC 2023」において、Digi田甲子園出場者などが出展する「デジ田構想特設パビリオン」を予定（昨年は、8万人超が来場）。